

【 報告事項 】

(1) 委員の交代について **【資料1】**

平成28年1月から平成29年12月までの2年間を「資料1 八代市地域公共交通会議委員名簿（H28.1～H29.12）」の皆様に委嘱いたしております。

ほとんどの委員の皆様には再任いただいておりますが、人事異動により、産交バス(株)八代営業所長の坂田委員、前委員のご辞退により、鏡地域代表として岡田委員（鏡地域審議会 推薦）が新たに委員になられております。

(2) 監査の指名について **【資料2】**

平成28年1月から新たな任期となりましたので、改めて、本会議の監査を選任するものです。

監査委員につきましては、前期に引き続き、次の委員を指名いたします。

- ・八代地域代表 徳田委員
- ・八代校長会 山鹿委員

(3) 補正予算について **【資料3】**

協議事項(1)の「再編実施計画」に関し、国補助金を使って、当初は、会議3回分の予算に計上していましたが、国補助を使った会議を2回にとどめ、1回分(報酬65千円、旅費9千円)を減額し、事業費として、試験運行の委託料を74千円増額する補正を行うものです。

【 協議事項 】

(1) 路線再編に関する検討の経過について **【資料4】**

① 地域公共交通の課題と施策展開

「再編実施計画」の説明に入る前に、改めて、昨年度策定した「網形成計画」で整理した問題点を振り返ります。

② 乗合タクシー試験運行の結果報告について

「網形成計画」で整理した問題点に対し、対応策のモデルケースとして、乗合タクシーの試験運行を実施しました。

その概要及び結果について説明いたします。

③ 路線再編の概要について

「網形成計画」で整理した問題点、乗合タクシーの試験運行結果を踏まえ、路線再編(案)を提案いたします。

⇒ 本日の協議を踏まえ、3月に公共交通会議を開催し、「再編実施計画」の最終案を提案する予定です。(その後、関係者との合意形成、国の認定に係る調整を行い、次年度以降、再編を実施したいと考えております。)

(2) 八代市モビリティ・マネジメント推進事業の進捗状況について 【資料5】

※ モビリティ・マネジメントとは

市民に対し「くらしを楽しくする交通手段の選び方」を提案する取り組みです。

公共交通の利用促進に向けた取り組みとして、企業と学校を対象に、モビリティ・マネジメントを実施しています。

対象の企業と学校については、昨年度実施したアンケートで公共交通での通勤、通学を促進したいという意向を持たれているところの中から、人数や立地条件等を考慮し、今後、モビリティ・マネジメントを展開していく上でモデルとなる企業、学校を選定しました。

啓発冊子や公共交通マップを作成、配布し、事前・事後アンケートやワークショップ、企業・学校へのヒアリング等を通して、公共交通のことを考えていただく取り組みです。

まだ、今年度の事業は途中段階ですが、現時点でも、多くのデータを得ることができておりますので中間報告いたします。

(3) 市民や利用者からの意見募集について 【資料6】

「八代市地域公共交通網形成計画」の「6-2目標達成に向けた施策展開」の中に、「■地域が一丸となって公共交通を支える仕組みに関する施策展開」という項目があり、その項目の②番に「公共交通に対する改善要望等を積極的に収集し、活用する仕組みづくり」とあるため、その方法についてご意見を伺うものです。

【その他】

(1) 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価の提出について 【資料7】

協議事項(1)、(2)に関連する報告です。

協議事項(1)、(2)につきましては、国の補助を受けて実施しているため、その制度に則り、事業評価を提出する必要があります。

「資料7」の内容で事業評価を提出しておりますのでご報告しておきます。